

隼人族の森を渡る風

創造の現場から 第43回

森の彫刻家 上床利秋



「洞窟壁画」
2005年
バンクシー



「愛はごみ箱の中に」
2018年
バンクシー



パンクシー 2020年製作
「これは白人の問題だ。そして、もし白人が問題を解決しようとしないならば、誰かが上の階に行って、ドアを蹴破るしかないんだ。」
インスタグラムより抜粋



バンクシー 2020年製作 「像がなくなつて寂しく想う人もそうでない 人にも対応するアイデアを示そう。像を水中 から引き揚げ、台座に戻し、首に縄をかけて 引き倒そうとする人たちの等身大の銅像も 置けばいい。」 インスタグラムより抜粋

トランプ政権下のアメリカで起こるべくして起きた人種差別反対運動は沈静化するどころか瞬く間に世界中に広がりを見せた。それには、世界で活躍するスポーツ選手や文化人たちも共鳴して改めてこの問題の深さを感じさせられた。

その中でも私は、謎のアーティストといわれるバンクシーが二点の新作

を今回の運動に賛同して発表したことで、彼に一層の興味を抱くようになった。一点は、アメリカの国旗にろうそく刺画に。もう一点は奴隸売買で財を出した商人の銅像を引き倒そうとする人々を銅像として付け加えようという趣旨の風刺画に。

銅像はかつてレーニン像やフセイ

バンクシーの発想 —現代アートの持つ試み—

ハンマーで机をトントンとたたかれて値段が決定した瞬間に、額縁の裏に仕掛けられた特殊なシユレッダーで作品が遠隔操作によつてズタズタに切れてしまった。落札会場に集まつた民衆の眼前で。人々は一瞬何が起こつたのか分からず、どよめく。係員は慌てふためく。その姿を映像はすべて冷静に撮影されている。その映像をつくることが実はバンクシーの考へる「ンセプト」だったのである。

バンクシーが有名になつたエピソードは多いのだが、その中でも、大英博物館にこつそりと自作の壁画を飾り、それが3日間ばれなかつたというものがいる。そして、この『作品』はやがて本当に大英博物館の所蔵作品として認められてしまうのだから、やはりタダモノではない。

既に有名である彼の作品は、俳優の

ン大統領像など政治的な観点で民衆によつて引き倒され、その映像が世界中に伝わつた。ブロンズ像や石像は『芸術品』でもあることなど、現代社会は深く考へない。文学において、焚書という行為は野蛮人の証明として、完全否定されているといふのに。バンクシーはそれをも解決しようという思いを風刺画として作品に入れ込んでくれたのだ。

私は民衆が暴動のシンボルのように像を引き倒す姿は、それを見るにつけ、いつも胸が痛くなる。

レモン画材絵画教室

- 隔週水曜日 10:00～ 油絵・水彩教室
 - 隔週土曜日 16:00～ 油絵・水彩教室
 - 隔週日曜日 16:00～ デッサン
 - 隔週土曜日 ①10:00～ 子供絵画教室
②13:30～
 - 月1回第2火曜 10:00～ 和紙ちぎり絵教室

お申し込みはTEL 0995-45-1015 国分進行堂・レモン画材まで

ホームページ刷新しました。
<https://douzou.jp/>

